

平成30年11月 教育委員会定例会会議録

1 開会の日時

平成30年11月16日（金） 午後2時00分

2 出席委員

新 倉	聡	教育長
荒 川	由美子	委員(教育長職務代理者)
三 浦	溥太郎	委員
小 柳	茂 秀	委員
澤 田	真 弓	委員

3 出席説明員

教育総務部長	阪 元 美 幸
教育総務部総務課長	夏 目 久 也
教育総務部教育政策課長	島 田 圭
教育総務部生涯学習課長	高 木 厚
教育総務部教職員課長	金 子 美夕貴
教育総務部学校管理課長	山 岸 哲 巳
学校教育部長	伊 藤 学
学校教育部教育指導課長	米 持 正 伸
学校教育部支援教育課長	塚 田 美保子
学校教育部学校給食担当課長	志 村 恭 一
中央図書館長	山 口 正 樹
博物館運営課長	永 嶋 省 吾
美術館運営課長	菅 野 智
教育研究所長	山 崎 亨

4 傍聴人 2名

## 5 議題及び議事の概要

- 教育長 開会を宣言
- 教育長 本日の会議録署名人に澤田委員を指名した。
- 日程第1 議案第52号については、市長が今後議会に提案する案件であるため、秘密会とすることを提案、「総員挙手」をもって秘密会とすることを決定。
  
- 教育長報告

(新倉教育長)

それでは、10月定例会から本日の間の所管事項について、報告をさせていただきます。

お手元の教育長報告資料でございますけれども、これまではちょっと学校教育関係と大きく展覧会等、展示・展覧会等とだけに分けておりましたが、それぞれちょっと区分を見直しさせていただいて、具体的内容なども種別をさせていただいたところでございます。

まず、教育委員会関係の行事等につきましては、10月20日から11月4日、今年度初めての横須賀版キッズウィークを開催させていただいたところであります。商工会議所さんとの一つのイベントという形で進めさせていただいておりますけれども、今後も親子がどうやって親しめるかということについては、今回の実施を含めまして検討を加え、来年度、より精度高いものに進めていきたいというふうに考えております。

それから、記載を漏らしていましたが、11月7日に愛知県知立市の教育委員会委員の皆さんの視察をいただきました。宇野教育長ほか教育委員の皆様が、田戸小学校におきまして、横須賀市の外国語教育についての視察を受けたところでございます。

11月11日、12日、私を含めまして全教育委員で富山県富山市に伺わせていただきまして、学力向上の実践状況を視察させていただきました。富山市立菰浦小学校と岩瀬中学校を視察。それぞれ授業状況等を見させていただくとともに、岩瀬中学校におきましては、中学校の学校給食、センター方式でとっておりますので、その具体的な配膳等をあわせまして、給食を見学させていただいたところでございます。

次に、学校教育関係の行事等ですけれども、10月13日に第50回の横須賀市小学校の陸上競技大会が開催されました。不入斗の陸上競技場におきまして、全小学校約900名のご参加のもと開催をいたしました。今年度も小学校5年女子におきまして大会新記録等が出るように、子供たちの体力の向上に寄与している

というふうに考えております。荒川委員にご参加いただきまして、ありがとうございました。

次に、10月20日に第67回の横須賀市中学校駅伝競走大会。国道16号線の馬堀海岸区間を折り返しのコースで開催いたしました。大変風の強い中でしたが、全23校の市立中学校と横須賀学院中学校の24校、約400人の方にご参加をいただいたところでありまして、上位3校につきましては、県の中学校駅伝競走大会に出場いたしました。

11月10日には第36回の横須賀市児童生徒表現運動とダンス発表会を開催いたしました。例年、横須賀アリーナで開催をしておりましたが、今年度、改修工事のため、南体育会館で開催させていただき、小学校3校、中学校3校に市立横須賀総合高校のダンス部が加わりまして、約320名の方に参加をいただきました。今年度も日本女子体育大学の宮本乙女教授から全般にわたる講評をいただいたところでございます。

また、11月13日には、全国中学校ものづくり教育フェア全国・関東大会の激励会を開催させていただきました。12月2日に関東大会が、来年1月26、27日に全国大会が開催されまして、県の代表といたしまして、長井中学校、公郷中学校、浦賀中学校、北下浦中学校、そして衣笠中学校の5校が、それぞれの大会に参加することとなっております。

以上の学校関係につきましては、本日、報告事項とさせていただきますので、詳細は各担当のほうから報告をさせていただきます。

それから、11月15日に、昨日になりますけれども、生活体験発表の全国大会出場者が、市長と私のほうに表敬をいただいたところでございます。具体的に、全国定時制通信制生徒生活体験発表大会というのが、定時制の中では四大大会と言われておりますが、その中においての生活体験の発表大会に、市立横須賀総合高校の定時制2年、青柳日那さんが出場いたしまして、神奈川県代表ということで最優秀を受賞したところでございます。この後、11月24日に開催される全国大会に、全国58名の参加者の一人として出場できるという形になっております。本日、神奈川新聞等々の取材もございましたけれども、ご本人自身が全日制の高校等への進学がかなわなかったことにより、大変精神的にも苦しまれ、入院までされていた中、横須賀総合高校の定時制の中でみずからの進む道を見いだしていただいて、本年4月に横須賀総合高校の短期留学にも参加していただき、かつ、サッカー部のマネージャーとして、現在新たな進み方といましようか、生き方を見いだしていただいて、現在たくましく生きていただいているということをご自分の口から発表いただいている内容でございます。大変感激しまして、市長ともお会いいただきまして、発表された文章を見ていただいたところ、涙が出たという、そういう感激をしていただいたとこ

ろでございました。

その他の社会教育関係並びに図書館・博物館の展示の状況につきましては一覧のとおりでございますので、ぜひお時間がある間にご参照いただければというふうに思います。

私からは以上の報告です。

(質問なし)

教育長 報告事項を聴取することを宣言

報告事項(1)『行事等の開催結果等について』

ア 横須賀市小学校児童陸上記録大会の開催結果について

(学校教育部長)

横須賀市小学校児童陸上記録大会の結果報告をさせていただきます。

本大会は、市内の小学校46校から5・6年生の学校代表選手895名が参加し、10月13日土曜日、不入斗公園陸上競技場で開催いたしました。

当日は天候にも恵まれ、5年女子100メートル走と6年男子走り高跳びでは大会新記録が出るなど、子供たちの日々の練習成果が発揮されるとともに、保護者を初め約1,000人の応援者が観客席を埋め尽くす大盛況の大会となりました。

競技結果については、ホームページにも記載をいたしておりますので、ごらんください。

横須賀市小学校児童陸上記録大会結果については以上でございます。

(質問なし)

イ 横須賀市中学校駅伝競走大会の開催結果について

(学校教育部長)

横須賀市中学校駅伝競走大会の報告をさせていただきます。

横須賀市中学校駅伝競走大会は、横須賀市中学校総合体育大会の締めくくりの大会として開催をしており、今回で男子は69回目、女子は35回目となります。また、県立観音崎公園内コースから国道16号線馬堀海岸区間コースに移してから、今年で11年目となります。

大会は予定どおり10月20日土曜日、市内の全公立中学校23校に横須賀学院中学校を加えまして、男女各24校での参加となりました。

当日は好天に恵まれ、406名の選手を初め、約5,500名の来観者が沿道を埋め尽くし、各学校ののぼり旗も多数並んで大変な盛り上がりの中、浦賀警察署や地元町内会等のご協力をいただきながら大会を開催することができました。

結果につきましては、6位までに入賞した学校と区間賞を記載しております。

女子では追浜中学校が2年ぶり、男子も追浜中学校が昭和39年度以来54年ぶりの優勝を飾り、追浜中学校が男女での優勝となりました。

なお、男女とも上位3校については、11月10日土曜日、横浜八景島海の公園周回コースで開催いたしました神奈川県中学校駅伝競走大会に出場いたしました。県大会での優勝チームは全国大会に、上位4校は関東大会への出場権を得ることになります。今年度の県大会では、追浜中学校男子が5位に入賞するなど、市内各中学校がそれぞれ上位につける活躍を見せましたが、惜しくも関東大会・全国大会出場はございませんでした。

委員の皆様には、開・閉会式への出席もあわせ、ご支援・ご協力をいただき、まことにありがとうございました。

横須賀市中学校駅伝競走大会の結果については以上でございます。

(新倉教育長)

私から1点。新たに何か計測のためのたすき等のタグの方式が変わったというふうにお伺いしていたんですけれども、その辺、ご説明をお願いします。

(学校教育部長)

今年度から、ICチップをたすきに埋め込んだものをセンサーが感知して計測をするという方式を新たに取り入れたということでございます。

(新倉教育長)

これまでは、それぞれの体につけてあるのですか。

(学校教育部長)

これまでICチップを用いず、通常の陸上記録大会と同じように、走者が通過した瞬間を、ストップウォッチをもって計測をするという形で計測をしておりましてけれども、今回はある意味自動計測といいますか、センサーによるオートマチックの計測方式を取り入れたということでございます。

(新倉教育長)

ありがとうございます。ある意味、より正確に計測できたというお話かなと思います。ありがとうございました。

ウ 第19回全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわの結果について

(教育指導課長)

それでは、第19回全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわの結果について、ご報告いたします。

11月3日土曜日に、第19回全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわが松田町立松田中学校で行われました。

このものづくり教育フェアは、中学校技術・家庭科の授業で学習した成果を発表し合い、お互いの技術を交流する機会となる県大会です。横須賀市の中学校からは、予選を勝ち抜いた公郷中、衣笠中、浦賀中、北下浦中、長井中の5校、25名の生徒が4部門に出場し、関東大会及び全国大会へと出場または推薦されることとなりました。

関東大会は、12月2日日曜日、新潟県アオーレ長岡で行われ、アイディアロボットコンテストに4校8チームが出場します。県内からは、出場するチームは全部で9チームですが、その中で横須賀は8チームを占めるという。毎年多くのチームが関東大会に出場する実績を上げております。

全国大会は、平成31年1月26日土曜日と27日日曜日、東京都で行われ、ここでは、おべんとうコンクール、会場、女子栄養大学で、パソコン入力コンクール、会場は葛飾区水元総合スポーツセンターで行われます。

なお、この関東大会、全国大会に向けて、11月13日火曜日に横須賀市役所正庁にて激励会を行わせていただいております。

報告は以上です。

(新倉教育長)

1点だけ、私のほうから。創造アイディアロボットコンテスト関東大会があって、関東大会の後、全国大会というのものもあるんですか。

(教育指導課長)

はい、関東大会で優秀な成績をおさめますと全国のほうにつながっていくということでございます。

(新倉教育長)

全国大会というのは、今言っている1月26、27日に、同じような時期にやるわけですね。

(教育指導課長)

いえ。この全国大会と言っているのは、おべんとうとパソコンの部門だけです。ロボットにつきましては、また結果を受けてということになります。

#### エ 横須賀市表現運動・ダンス発表会の開催報告について

(学校教育部長)

それでは、横須賀市表現運動・ダンス発表会開催のご報告をさせていただきます。

11月10日土曜日に、第36回横須賀市表現運動・ダンス発表会を南体育会館で開催し、小学校3校、中学校3校、計6校、326名が出場いたしました。児童生徒らは、最初は緊張の面持ちでしたが、曲が流れ始めるとリズムに合わせて体いっぱい表現し、仲間と息を合わせながら、授業や学校行事の成果を披露しました。

今回も、平成28年度に横須賀盛り上げ大使に就任された本市出身のEXILEメンバー橋ケンチさんとEXILE TESTUYAさんからプレゼントされた、横須賀オリジナルダンスを横須賀総合高校ダンス部が披露いたしました。迫力あるダンスに会場も大変盛り上がり、参加した児童生徒らも大きな刺激を受けていたようです。今後、横須賀オリジナルダンスがたくさんの子供たちに広がっていくよう、努めてまいりたいと考えております。

委員の皆様には、開・閉会式への出席もあわせ、ご支援・ご協力をいただき、まことにありがとうございました。

横須賀市表現運動・ダンス発表会の報告は以上でございます。

(質問なし)

#### オ 第8回横須賀市児童生徒ふれあい作品展の開催について

(支援教育課長)

横須賀市児童生徒ふれあい作品展の開催について、ご説明をいたします。

本市主催の横須賀市児童生徒ふれあい作品展の開催も、今年度で8回目となりました。本作品展では、特別支援学級や特別支援学校の児童生徒が学習の中で作製した作品を展示し、それによって子供たち一人一人の学習意欲や創造意欲を向上させることを目的としています。

横須賀市立の特別支援学級や特別支援学校だけでなく、市内にある特別支援学校や療育施設の作品展示も行い、市内にある特別な支援を受けることができる学校や学級・教室を周知するとともに、市民の皆様には障害のある児童生徒についてご理解いただくことも期待しております。

なお、今年度は国立特別支援教育総合研究所「世界自閉症デー in よこすか」との共同開催で、児童生徒ふれあい作品展の開催期間中の1日、12月2日を「横須賀市児童生徒ふれあいフェスタ」としております。

児童生徒ふれあい作品展の開催日時は、平成30年11月30日金曜日から平成30年12月4日火曜日の9時30分から17時までで、最終日のみ終了時刻が14時までとなっています。

開催場所は横須賀市文化会館3階市民第1ギャラリーです。

参加校は、横須賀市立小学校特別支援学級及びことばの教室、横須賀市立中学校特別支援学級、横須賀市立養護学校、横須賀市立ろう学校及びことばやきこえの教室、県立武山養護学校、県立岩戸養護学校、筑波大学附属久里浜特別支援学校、横須賀市療育相談センターひまわり園です。

続いて、裏面をごらんください。こちらは、平成30年度障害者週間キャンペーンYOKOSUKAとして、国立特別支援教育総合研究所と連携して開催する横須賀市児童生徒ふれあいフェスタ ワークショップのご案内です。

開催日時は、平成30年12月2日日曜日、10時30分から15時30分までです。

同じ文化会館内にある展示室にて行います。

発達障害教育に関する理解を深めるためのワークショップ（教材展示、心理的疑似体験、研究の紹介等）や、横須賀総合高等学校の障害理解に関する取り組みの紹介等が予定されております。

以上でご説明を終わります。

（質問なし）

（理事者報告なし）

（委員質問なし）



日程第 1 は、市長が今後議会に提案する案件であるため、秘密会とすることを宣言。関係者以外の退席を求めた。

6 閉会及び散会の時刻

平成 30 年 11 月 16 日（金） 午後 2 時 43 分

横須賀市教育委員会

教育長 新 倉 聡